

【1】食肉工場作業現場・出入口などの監視（長野県上田市）

◆ 導入のきっかけ



- 夜間就労時間での作業効率が悪くミスも多かったため、**就労状況の管理**が必要であった。
- **外国人労働者**が製品を不法に持ち帰るなどの事故が多く発生したため、監視が必要であった。
- 正規従業員ではない者の入室を監視する必要があった。

◆ 360度カメラの設置状況

- 生産ライン、入退出口など随所にドーム型の**カメラとモニター**を複数台設置し、**監視していることを明示**した。



◆ 映像例：

(左は、実際の映像ではありません)

◆ 導入の効果

- 1台で全エリアを見渡せるので、**初期投資が節約**できた。
- ドーム型のハウジングなので、カメラがどの方向を向いているか認識し難く、それでいて全方向を監視しているため、その映像を常時モニターに映し出すことで、サボリや横領などの**不正行為が極端に減少**した。
- 全方位カメラなので設置の台数を減らせ、**設置工事費用を抑えられ、モニタリングの台数も減り、監視の負荷も少なくて**きた。

【2】洋菓子工場・入口の監視（山梨県南アルプス市）

◆ 導入のきっかけ

- 衛生管理上、入室時の上下白衣・帽子の着用や徹底した手洗いを取行しているが、確実に実行しているか**管理・監督する必要**があった。
- **狭い部屋**なので、画角が狭い従来型のカメラでは、死角をなくすためには両方向に設置しなければならず、コスト高で非効率的であったが、**360度カメラであれば1台で全域を死角なく**撮影できた。

◆ システム構成

